

12/4

日南中学校創立50周年 記念式典



日南中学校の創立から50周年を迎えたことを記念して、記念式典が開催されました。

式典には、町長、議長をはじめ、第13代校長の黒見隆久さんら5人の歴代校長など、在校生含むおよそ100人が出席しました。式典では日南中1期生の同窓会長・山本泰さんから生徒会長・小谷楓雅さんへ記念品が授与され、全校生徒による「ふるさと」の合唱でしめくくられました。終了後は日南神楽や歌実など4団体が記念講演を行いました。

12/4

坪倉万葉さん アスリートサポーター任命



このたび、にちなんダンススクール（NDS）の講師を務める坪倉万葉さんを、日南町が新たに創設した「にちなんアスリートサポーター」に任命しました。

坪倉さんは、プロダンサーとしての豊富な経験を活かし、日南町の子どもたちにダンスの魅力を伝えたいとの思いから、NDSを開校。現在、町内外から約40名が通っています。

町内にかけるダンス文化の定着とともに、関係・交流人口の創出にもつながっています。

12/14

多ジャンルの音楽を 届けるOTOまつり



毎年、町内外から多くの音楽愛好家が集まるOTOまつりが今年も開催され、13組の出演者が多彩なジャンルの音楽を発表しました。町内からは、2回目の参加の「大入坂810」やカリンバ演奏の「タッタモーチェ」、おなじみの「歌実」などが出演。また常連のバンド「コイーズ」は、昨年開催された大阪万博で披露した「砂だけじゃないのよ」を演奏。雪がちらつく寒い日でしたが、ステージは熱気にあふれていきました。

12/8

文化芸術教室 狂言に触れる



日南町の子どもたちに上質な文化や芸術に触れ、学んでもらうために実施している文化芸術教室が、一般町民向けにも開放され、44人の一般観客含むおよそ200人がその魅力に引き込まれました。

京都で江戸時代初期から続く名門・茂山千五郎家が、小中学生の文化芸術教室として公演しました。「柿山伏」と「附子」の2曲目が披露され、曲目の前に狂言の楽しみ方の解説もあり、参加者たちは狂言の奥深さと楽しさを実感しました。

